

事業の目的と概要

○事業目的

- ・国道13号及び国道4号の交通混雑の緩和・交通安全の確保
- ・福島市の産業振興による地域活性化を支援

○計画概要

- 起終点** : 自 : 福島県福島市大森
至 : 福島県福島市南矢野目
- 延長、幅員** : 延長 7.7 km、
W = 40.0 m
- 道路規格、設計速度** : 第4種1級、V = 60 km/h
- 都市計画決定** : 昭和42年度(S57年度変更)
- 事業化** : 昭和57年度
- 工事着手** : 昭和62年度
- 開通年度** : 平成21年度(H22年3月)

位置図



平面図

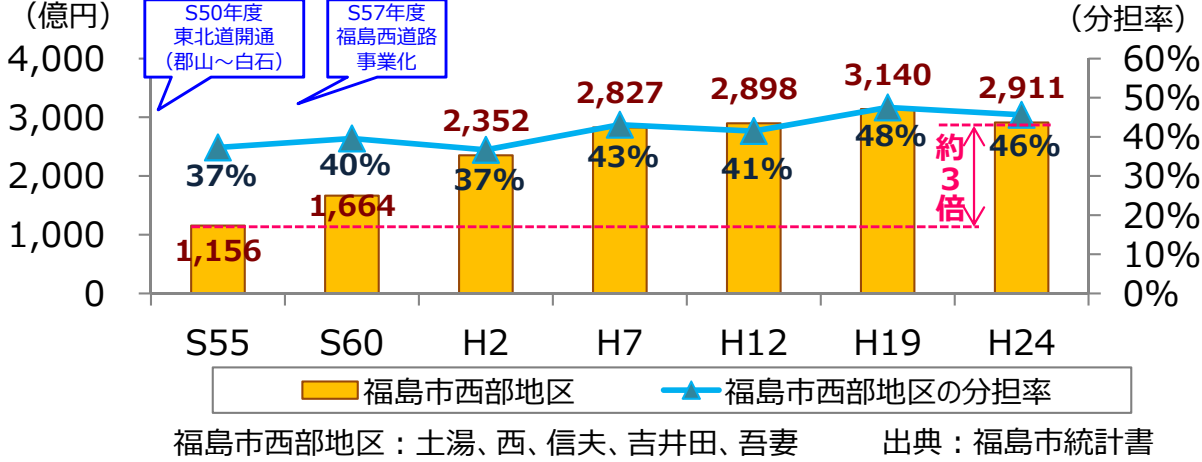


凡例	
—	開通中
- - -	事業中
□	未事業化
—	道路種別
—	評価対象区間
—	高規格幹線道路
—	一般国道
—	主要地方道・県道
—	その他道路
—	道路種別
—	4車線以上
—	2車線
●	H22センサス
●	交通量観測地点
■	工業団地
■	DID地区(H22)
●	県庁
●	市町村役場
+	福島県立医科大学附属病院
+	大浜広域線

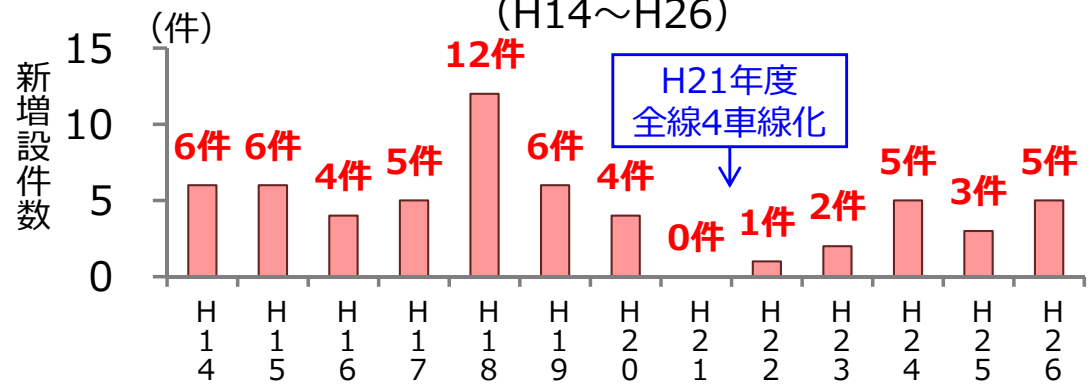
事業効果の発現状況 企業立地による地域活性化の支援（経済の好循環）

◆ 福島西道路が事業化したS57年以降、市内に大規模な工業団地を増設し、福島市西部では製造品出荷額が約3倍に増加
 ◆ 過去13年間に新設・増設した企業が59社、設備投資額は約485億円、約1,200人の新規雇用を創出し、地域活性化に寄与

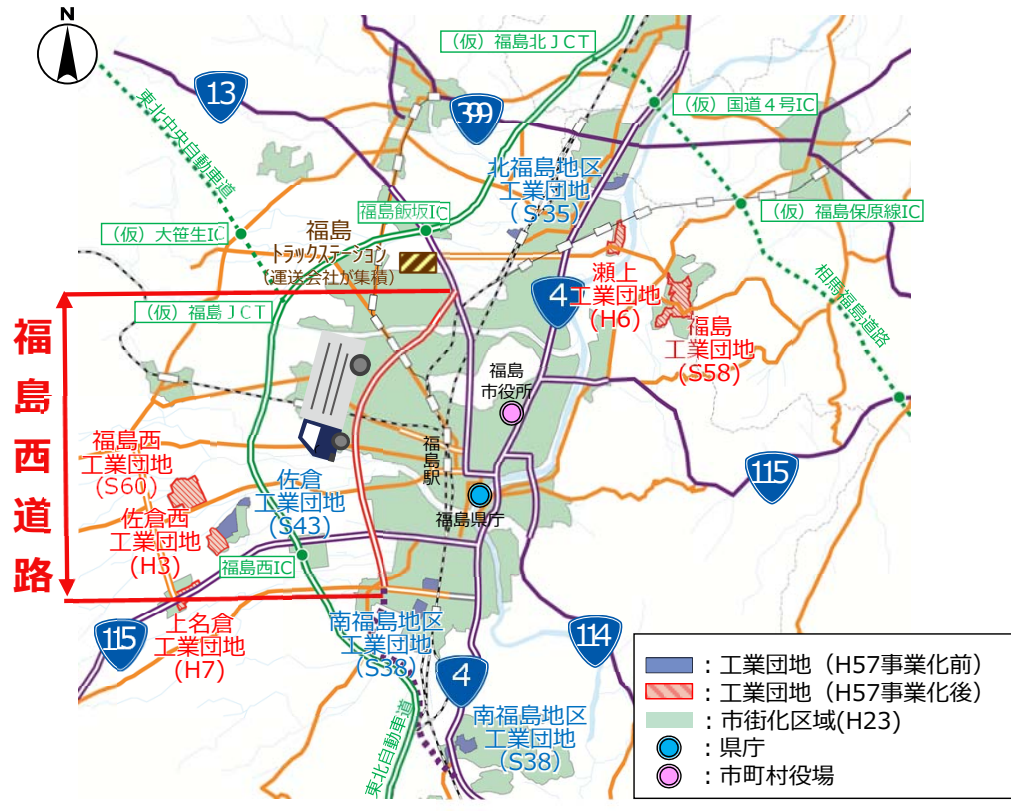
▼ 福島市西部地区の製造品出荷額の推移



▼ 新設・増設した企業数の推移（福島市）（H14～H26）



※ 福島県工業開発条例に基づく届け出のあった企業（製造業等）を集計
 資料：福島県商工労働部企業立地課



【企業誘致担当部署の声】

工業団地への立地を検討している企業にとって道路交通インフラは最も重要なファクターです。
 IC周辺に集中する運送会社に製品の出荷を委託する企業も多く、アクセス性が向上する福島西道路は企業の物流活動において高い評価を得ています。
 (福島市商工観光部企業立地課ヒアリング調査結果)

過去13年間で

- ① 工場の新増設を行った企業は59社
- ② 設備投資額は、約485億円
- ③ 約1,200人の新規雇用を創出

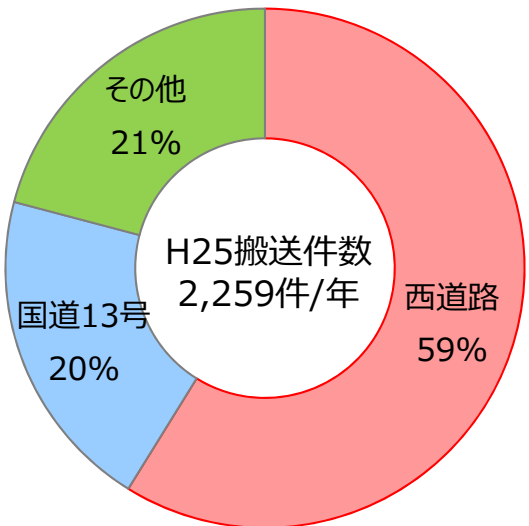
事業効果の発現状況 救急医療活動の支援

- ◆ 福島市の北西部に位置する福島市消防本部清水分署では、福島県立医科大学病院への搬送に福島西道路を利用する割合が6割
- ◆ 市内通過ルートに比べ福島西道路通過ルートは、信号交差点数が少ないことなどから救急搬送時の安定搬送に寄与

▼ 清水分署管内発生 の 救急搬送経路



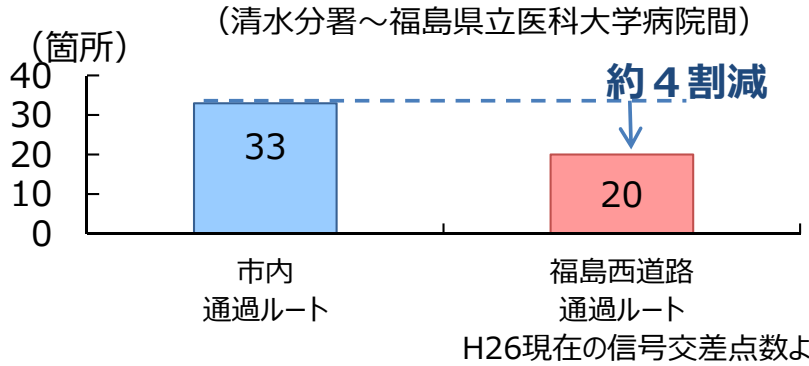
▼ 清水分署管内の救急搬送で使われる経路割合



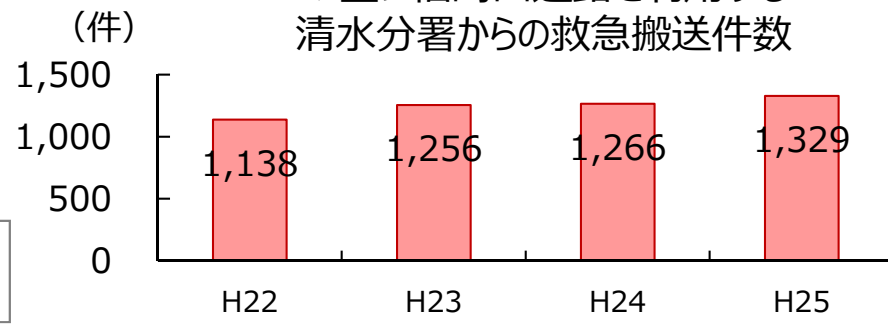
※福島市消防本部清水分署より、管内の救急搬送について、病院毎に件数と経路を確認し、算出。
(全搬送件数はH25.1月～12月で2,259件)

資料：福島市消防本部ヒアリング調査結果

▼ 信号交差点数の比較 (清水分署～福島県立医科大学病院間)



▼ 主に福島西道路を利用する清水分署からの救急搬送件数



資料：福島市消防本部ヒアリング調査結果

<地元救急搬送機関の声>

- ・福島西道路が開通後は、特に南、西方面の病院への搬送が容易になり、さらに道路状況も良いため、非常に心強い路線となっている。
- ・国道13号、4号に比べて福島西道路は信号機が少なく、信号通過時のブレーキ機会も少ないことから、患者負担が少なく、より安定した搬送が可能である。
- ・救急搬送時、最短ルートではないが道路状況が良く、道路幅員も十分に確保されているため、福島西道路を選択している。最短ルートを走行するよりも時間短縮されているように感じる。

(H26年度 福島市消防本部 ヒアリング調査結果)

事業効果の発現状況 地域特産品の輸送効率化を支援

- ◆福島県内1位の農業生産額を誇る福島市では、特産品であるナシやモモなどの果樹が全国トップクラスの収穫量
- ◆モモ・ナシ・リンゴの出荷ルートは、選果場(一部)から福島西道路を利用して流通センターへ輸送しており、輸送の効率化等農業振興に寄与

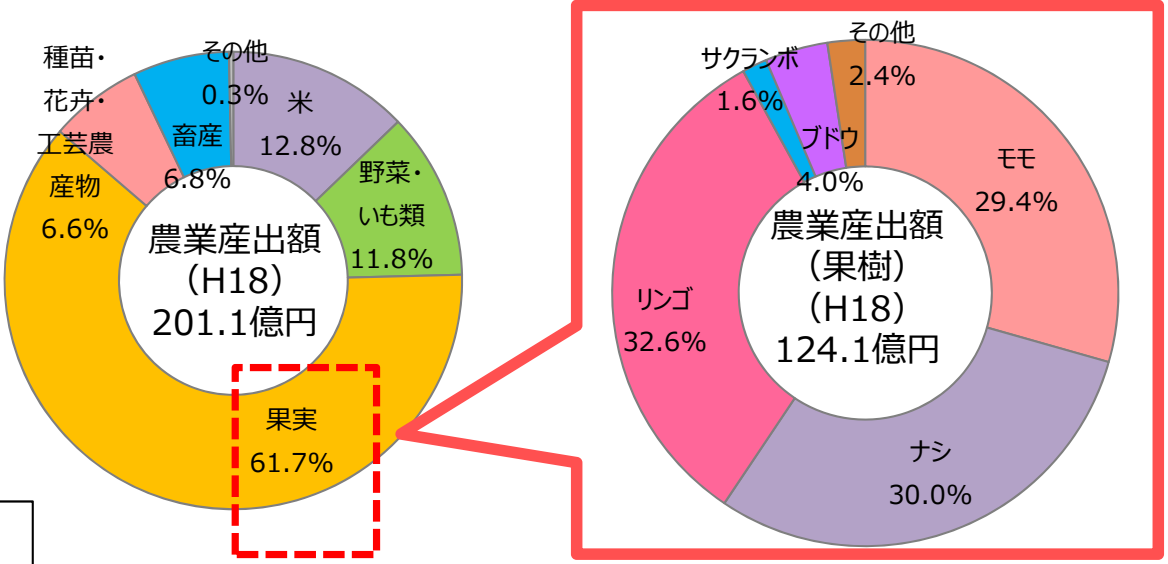


【地元農協の声】
 福島西道路ができたおかげで、**共選場からモモ・ナシ・リンゴを輸送する際、円滑性や安全性が高まった。**

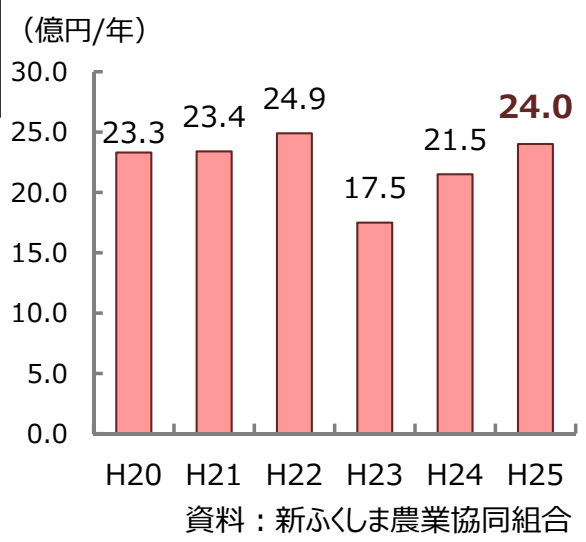
【運送会社の声】
 福島市の西側にある農協に集荷に行く際、**街中を通らなくてもよくなり、随分早くなった。**

(H26年度ヒアリング調査結果)

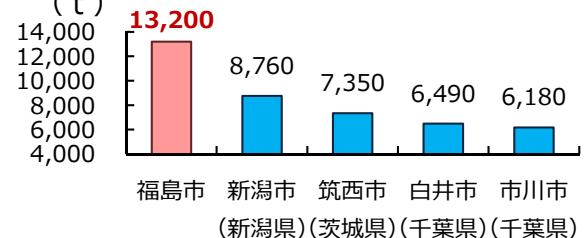
▼福島市における農業産出額の内訳



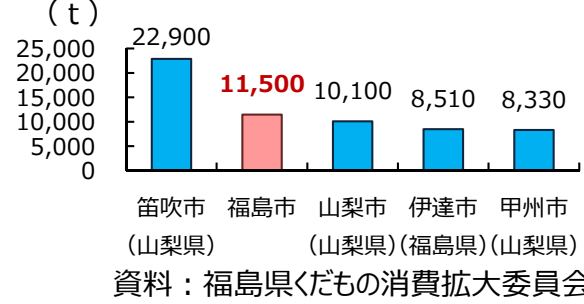
▼モモの販売額の推移



▼ナシ【全国1位の収穫量】(H18)



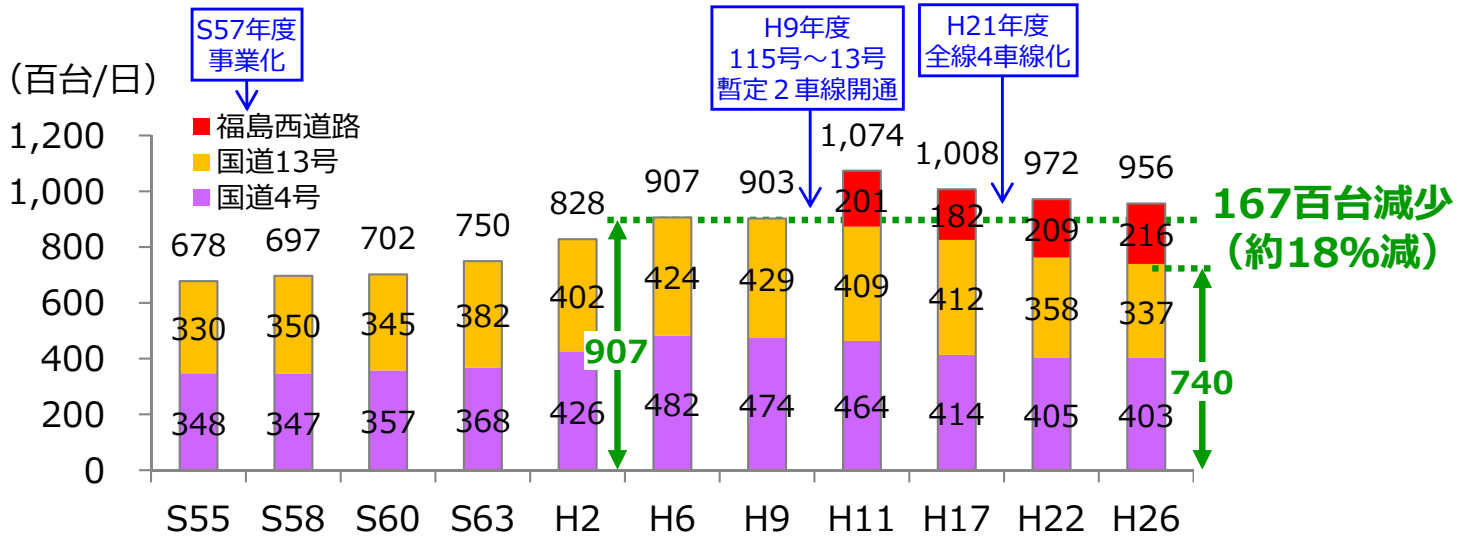
▼モモ【全国2位の収穫量】(H18)



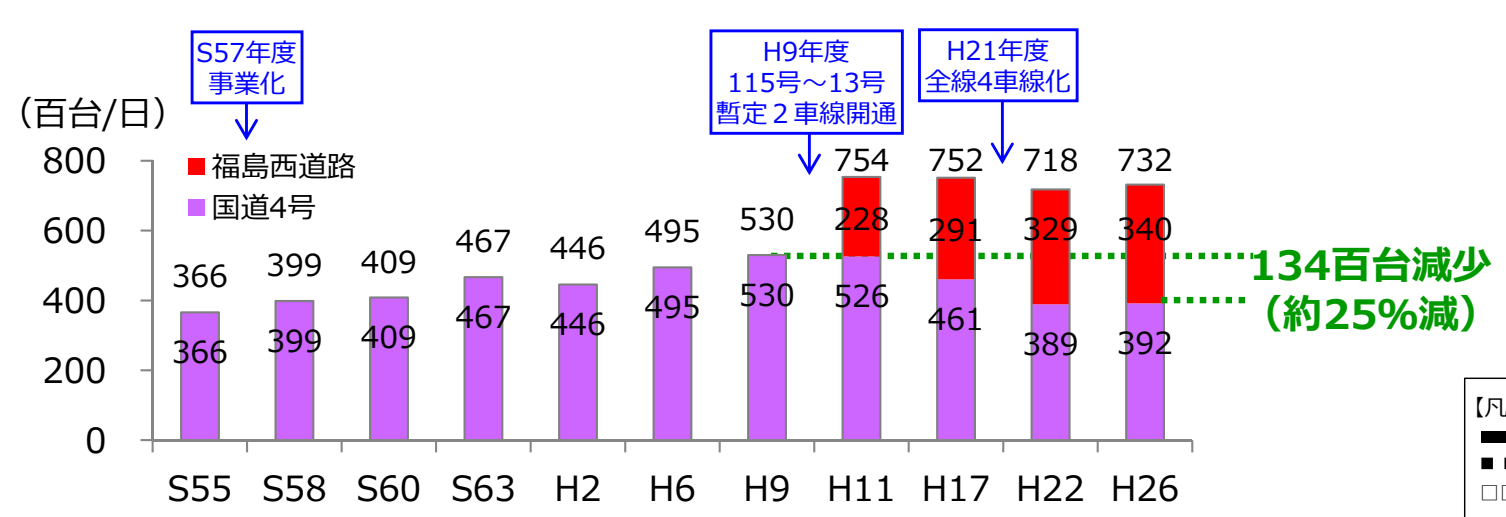
事業効果の発現状況 現道の交通負荷が軽減

- ◆福島西道路が暫定2車線で開通した平成9年度以降、並行現道の国道13号、国道4号の交通量は減少傾向（断面A）
- ◆福島市中心部以南の断面Bでは、並行する国道4号の交通量が約25%減少

▼ 交通量の推移（断面A）



▼ 交通量の推移（断面B）



【凡例】

- : 開通中
- - - : 事業中
- : 未事業化

道路種別

- : 評価対象区間
- (赤) : 高規格幹線道路
- (紫) : 一般国道
- (黄) : 主要地方道・県道
- (灰) : その他道路

道路種別

- (太) : 4車線以上
- (細) : 2車線

その他凡例

- : 県庁
- : 市町村役場

資料：各年道路交通センサス（S63～H22）
交通量常時観測データ（H26.10）・・・隣接する常時観測地点からの推計値

事業効果の発現状況 市街地の交通混雑の緩和

- ◆ 国道13号中央郵便局前交差点や国道4号舟場町交差点などでは、福島西道路の全線4車線開通によって、渋滞長が大きく減少
- ◆ また、国道13号の中心市街地点における道路交通騒音の環境基準超過箇所も解消

